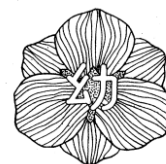




ひがしとみずようちえんだより ～ 第1学期を終えて ～



令和8年7月17日
小田原市立東富水幼稚園
文責 宮川 晃

4月7日（火）、年少児（ひよこ組）14名と年長児（すみれ組）15名の計 29名の幼児、そして13名の教職員による東富水幼稚園の令和8年度がスタートしました。（現在は、年少13名、年長17名、計30名です。）

入園当初は、初めての集団生活に戸惑っていたひよこ組の子どもたちも、今では1日の流れや当番活動のやり方等を覚え、自分でできることが増えてきました。「今日はブロックであそぼう」「アイス屋さんごっこをしよう」等と、自分のやりたいことを見つけようとする気持ちが育ってきています。

すみれ組の子どもたちは、年下のひよこ組の子どもたちにやさしく声をかけて教えたり、「一緒に遊ぼう」と誘ったりすることができています。4月末に行ったチューリップ会後には、ますますお兄さんお姉さんらしくなってきました。



入園式（年少）



桜の木の下で（年長）

東富水幼稚園では、

令和8年度の教育目標を

『認め合い育ち合う子どもの育成』とし、

★自ら関わることを楽しめる子

★粘り強く頑張れる子

★自分も友達も大切にできる子

を目指し、指導しています。

また、教育目標を達成するために、今年度は園内保育研究会を開き、

研究主題 『幼児の主体性を育むための教師の資質向上』

サブテーマ ～ “やりたい” がふくらむ保育 ～

に向かい、全職員で研究を深めています。



「すみれ・ひよこ けんきゅうしつ」

すみれ組とひよこ組の廊下の間にある「すみれ・ひよこ けんきゅうしつ」は、今年度もにぎわっています。カエルに餌をあげたり、アゲハ蝶の幼虫を観察したりなどなど…。黄アゲハやツマグロヒョウモンの旅立ちをみんなで見届けることもできました。今後も、どんな研究物が並ぶのか楽しみです。

重点課題と指導の方針①

『子どもの発達や特性に応じた教育活動』

- 人・もの・ことなど、身の回りの環境に積極的に関わり経験を重ねる活動内容の実践
- 興味関心をもち、試行錯誤しながら学びに向かう芽を培う環境の工夫
- 遊びを通した、体力・運動能力の向上
- 様々な環境に触れ、五感を通して心の豊かさを育む環境の工夫
- 地球環境や自然環境を活かし、取り入れた遊びの展開
- 栽培、飼育活動を通した命の学び
- 基本的な生活習慣、衛生習慣の確立
- 安全教育の推進（防災・防犯・交通安全・感染予防等）



あいさつや着替え、お弁当のしたくや後片付け、机や椅子の出し入れ、トイレや歯磨きなど、自分のことは自分でできるように、毎日の積み重ねを大切にしています。基本的な生活習慣を身につけるためには、大人の支援だけでなく、友だちと一緒にすることも大切です。ひよこ組の子どもたちにとって、基本的な生活習慣を身に付ける大切な1学期となっています。



幼児期は、遊びを中心にして主体的に人やものなどに関わりながら、総合的にいろいろなことを学ぶ時期です。今学期の子どもたちもごっこ遊びが盛んで、ひよこ組ではアイスクリーム屋さんごっこに氷屋さんごっこ、ハンターごっこ等、すみれ組ではキャンプごっこやお医者さんごっこ、家作りや太鼓作り等、様々ななりきりごっこ遊びが行われました。紙飛行機飛ばしやボーリングゲームにも挑戦し、みんなで楽しむことができていました。



園庭の芝生の上では、今年も子どもたちが元気いっぱい跳ね回っています。ダンスをしたり追いかっこをしたり、上り棒や太鼓橋、ブランコや滑り台などの遊具を使っての遊びをしたりしています。中でも、砂場遊びは大好きです。また、地域の指導者によるサッカー教室を開催したり、プールを使って水遊びをしたりするなど、子どもたちの興味関心の高い運動や季節に合った運動などに取り組んでいます。



年長組では、5月にタマネギの収穫をしました。6月には、ジャガイモを収穫しました。また、今年度も収穫したタマネギやジャガイモを使ってカレーパーティーを開き、日頃お世話になっている地域の方々をご招待しました。自分たちで育てた作物は特に美味しいですね。そして、田植えにも挑戦しました。泥の田んぼにおそろおそろ入りながら、細谷さんやJAの小沢さんと一緒に、ていねいに苗を植えました。今から秋の収穫の時期がとても楽しみです。



子どもたちの安全をより確かなものにするため、防災・防犯・交通安全・感染予防等についての安全教育を毎月行っています。4月には親子交通安全教室と地震対応の避難訓練、5月には火災対応の避難訓練、6月には幼小中合同の引き取り訓練（地震）と酒匂川決壊対応の避難訓練を実施しました。また、7月の防犯教室には、講師として神奈川県くらし安全課より2名の職員の方々にお越しいただき、誘拐されないようにするにはどうしたらよいかを教えてくださいました。

重点課題と指導の方針②

『保護者・地域との連携』

- 幼児の成長をもとに喜び協力し合える信頼関係の構築
- 幼児理解・幼稚園理解と家庭教育の推進
 - ・情報発信、教育相談の充実
 - ・家庭とつながる活動の展開
 - ・楽しみながら参加できるPTA 活動の工夫
- 幼児の学びをつなげる小学校との連携
- 保護者支援・子育て支援の充実
- 地域環境・専門機関との連携や活用
- スクールボランティアの活用



「保護者と教師の会」の役員会では、子どもたちの園生活を豊かなものにするために、よりよい活動をしていこうと積極的な意見が交わされています。スクールボランティア活動も盛んで、読み聞かせボランティアの日には、事前に練習をして本番を迎えていただいています。また、今年度は、窓飾り作りのボランティアもお願いしています。今後も、様々な場面でボランティアをお願いすることがあろうかと思います。ご協力をよろしくお願いします。

重点課題と指導の方針③

『教職員の資質・能力の向上』

- 一人一人の発達や特性を捉えたきめ細やかな援助
 - ・教育課程、指導計画、アプローチカリキュラム、支援計画等、実態に応じた見直しと立案
- 幼児の思いに寄り添うインクルーシブ教育の推進
- ICTの活用や事務分掌の精査による効率的な仕事の推進
- チーム保育の実践
- 園内研究並びに自己課題に対する研究の推進、自己研鑽による保育スキルの向上



6月26日（金）、講師として小田原市教育委員会より眞鍋智洋指導主事をお招きし、園内保育研究会を開きました。子どもたちはお客様を前にしても、いつも通り自分のやりたい遊びをしたり、作ったり、みんなで楽しくダンスをしたりしながら、とても楽しそうに過ごすことができました。

これからも、外部講師や他園の先生方にご参観いただきながら、研究主題「幼児の主体性を育むための教師の資質向上」とサブテーマ「“やりたい”がふくらむ保育」の達成に向け、職員一同、研究を深めていきたいと思います。

安全で楽しい夏休みをお過ごしください

3つの「あ」で安全で楽しい夏休みを過ごしましょう。3つの「あ」で始まる言葉とは…

あいさつ

3つの「あ」の1つ目は「あいさつ」です。夏休み中にどこかへ出かけたり、親戚の人に会ったりと、いろいろな人に出会うことと思います。みなさんの成長した姿を見ていただくためにも、しっかりとあいさつしましょう。

あんぜん

2つ目は「あんぜん」です。交通事故や水の事故にあわないように、また、知らない人について行かないように、家族との約束を守り、気持ちよく、安全に過ごせるようにしてほしいです。

ありがとう

3つ目は「ありがとう」です。みなさんの家族やまわりの人は、みなさんが楽しい夏休みを過ごせるようにと考えてくれています。いつも感謝の気持ちを忘れず、「ありがとう」と言えるようにしましょう。

3つの「あ」を大切に、楽しい夏休みにしましょう。

